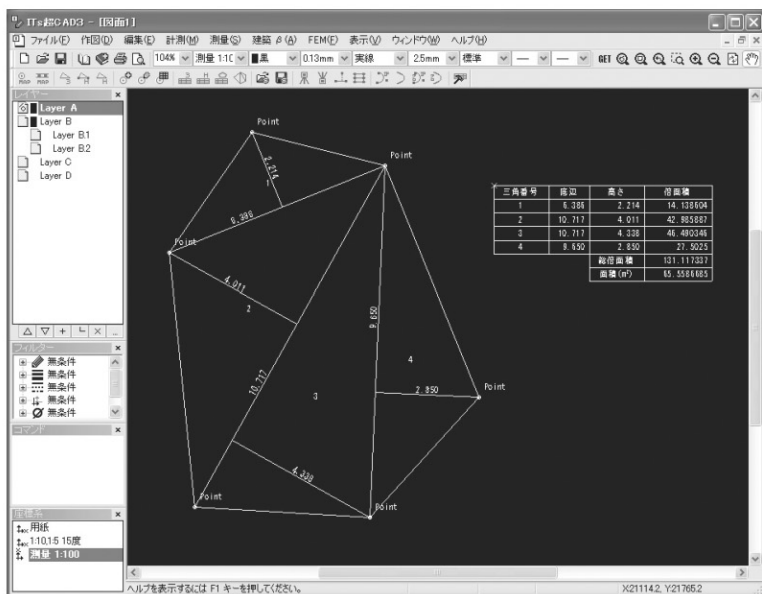


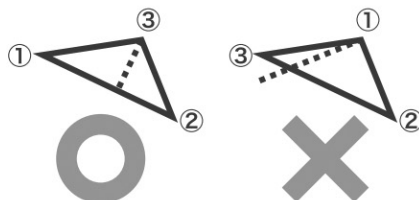
求積表の作成



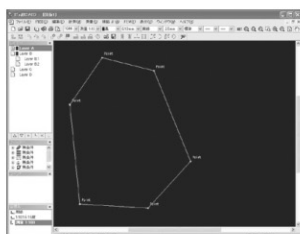
イツキヤドMAX2では、三斜法、ヘロンの公式、倍横距、の3種類の方法で、敷地面積を求めることができます。ここでは、一般的な、三斜法で求積表を作成する手順を解説します。左の図のような求積表を作成することができます。

三角形の指定の仕方

三角形は一番長い辺の両端のを最初に指定するのが一般的です。次にその辺の対角にある頂点を指定します。

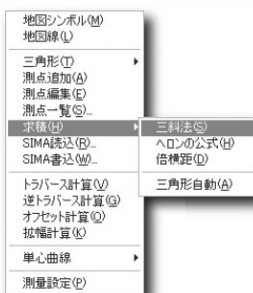


1. 敷地図を作る



まず測点追加コマンド、線コマンドなどを使って敷地の外周を作図しておきます。SIMA 読込コマンドを使って別ソフトで作成した SIMA ファイルを読み込んで使うことも出来ます。(SIMA ファイルの読み込み参照)

2. 三斜法コマンドを使う



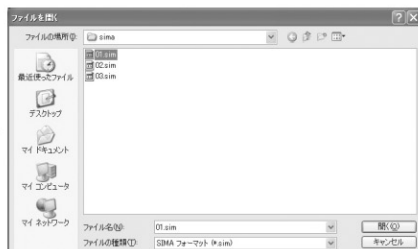
次に求積の三斜法コマンドを選択します。書いておいた敷地図をこのコマンドで三角形に分割してゆきます。三角形の指定の仕方に注意しましょう。

3. 表の設定をし描画する



最後に求積表の設定をします。文字の大きさ、有効桁数の取り扱いなどを指定し OK ボタンを押します。

SIMA ファイルの読み込み



SIMAファイルとは？

正式名称は「測量データ共通フォーマット」で、主に測量ソフト間のデータ交換を目的とした、ファイルフォーマットです。多くの測量ソフトで互換性があります。

CAD
ワンポイント
講座

「SIMA 読み込み」コマンドを使って SIMA ファイルを読み込むことができます。読み込んだ SIMA ファイルをもとに敷地図を作成し、面積計測をすると効率的な場合もあります。読み込むときは図面のスケールに注意しましょう。